

| 科目名<br>Course Name  |                        | 開講年次      | 開講学期      | 曜日・時限        |
|---|------------------------|-----------|-----------|--------------|
| アートセラピー I<br>Art Therapy I  |                        | 1年        | 後期        | 別途、時間割参照     |
| 単位数   | 授業の形態                  | 授業の性格     |           | 履修上の制限       |
| 1単位   | 演習                     | 選択        | ( )       | メディカルユニット履修者 |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目  |                        |           |           |              |
| 特になし  |                        |           |           |              |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目  |                        |           |           |              |
| 音楽セラピー  |                        |           |           |              |
| 担当者に関する情報   |                        |           |           |              |
| 氏名  |                        | 研究室の場所    | オフィスアワー   | 電話番号・メールアドレス |
| (主) 栃木美保 (外部講師・森憲司)   |                        | 講義棟1階 講師室 | 授業中に指示します | 授業中に指示します    |
| 授業の概要   |                        |           |           |              |
| 様々な素材や表現に触れ、自ら表現をする体験を通して、創造性やイメージの豊かさ、又幅広い人間性の向上を図る。造形表現により自己表現を磨き、感性を高める。   |                        |           |           |              |
| 授業の目標   |                        |           |           |              |
| ①自らのアイデアを色々な方法を使い表現できるようにする。<br>②創造する過程で試行錯誤を重ね、豊かな思考力および、表現力が身につくようにする。<br>③作品鑑賞の理解と豊かな感性を育む事ができるようにする。<br>④創造する喜びを得る事でメンタルヘルス、ストレスケアに役立てる事ができる。 |                        |           |           |              |
| 授業の方法   |                        |           |           |              |
| 講義、実習、テーマによる造形表現、作品鑑賞、作品展示などを取り入れ、素材の理解、造形表現を試みる。   |                        |           |           |              |
| 学習の成果 (学習成果)  |                        |           |           |              |
| 造形表現の体験を通して、表現の喜び、創意工夫、鑑賞する楽しみを身につける事ができる。素材や表現方法の多様性をする事で、感性を高め精神的な豊かさを得、メンタルヘルス、ストレスケアに役立てることができる。  |                        |           |           |              |
| 授業のスケジュールと内容  |                        |           |           |              |
| 第1回目  | オリエンテーション 造形表現とセラピーの関係 |           |           | (森)          |
| 第2回目  | 革細工による造形表現 (基礎 ①)      |           | (森)       |              |
| 第3回目  | 革細工による造形表現 (基礎 ②)      |           | (森)       |              |
| 第4回目  | 革細工による造形表現 (応用 ①)      |           | (森)       |              |
| 第5回目  | 革細工による造形表現 (応用 ②)      |           | (森)       |              |
| 第6回目  | 色彩について 色彩の基礎 カラーヒストリー  |           |           | (栃木)         |

|         |  |      |
|---------|--|------|
| 第7回目    | アートセラピー（絵画療法）の実際体験                             | （栃木） |
| 第8回目    | 五感について 環境における香りの利用法                            | （栃木） |
| 第9回目    | BOX表現① クリアボックスに季節の表現                           | （栃木） |
| 第10回目   | BOX表現② クリアボックスに季節の表現 講評会                       | （栃木） |
| 第11回目   | 空間表現（インスタレーション表現について） 課題の説明 アイデア検討             | （栃木） |
| 第12回目   | 空間を彩るオーナメントを各自のアイデアをもとに制作 ①                    | （栃木） |
| 第13回目   | 空間を彩るオーナメントを各自のアイデアをもとに制作 ②                    | （栃木） |
| 第14回目   | 空間を彩るオーナメントを各自のアイデアをもとに制作 ③                    | （栃木） |
| 第15回目   | オーナメント仕上げ 展示方法 作品講評                            | （栃木） |
| 事前・事後学習 | 課題表現に必要な素材を探し、各自用意できるようにする。課題に対し、より良いアイデアを試みる。 |      |

成績評価の方法と基準

| 評価の領域      | 割合  | 評価の基準                                  |
|------------|-----|--|
| 授業参加態度     | 40% | 課題の内容を考え、制作にまじめに取り組む。アイデアを形に表現する努力をする。 |
| レポート       |     |  |
| 調査報告書      |     |  |
| 小テスト       |     |  |
| 試験         |     |  |
| 発表内容（態度含む） | 60% | 作品提出 独創性のある表現を試み、表現の意図を伝える努力をしている。     |
| その他        |     |  |

教科書と参考図書

|      |
|------|
| 配布資料 |
|------|

履修上の留意点・ルール

|   |
|---|
| 積極的に授業に取り込む。授業の進行、他者に迷惑になる行為は禁止。遅刻厳禁。授業中携帯電話使用禁止。材料費に5,000円程度必要（集金は授業の中で） |
|---|